



## 1 基本理念・計画目標

本計画は、さっぽろ障がい者プラン2018を構成する計画であることから、引き続き、プランに掲げる基本理念及び計画目標の推進を目指します。

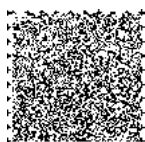
また、国の基本指針で示された新たな考え方や札幌市の障がい福祉施策の視点から目指すべき共生社会の実現に向けた取組を、本計画に反映させていきます。

### 基本理念

障がいのある人もない人も、その命の尊厳が当然に保障され、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現

### 計画目標

- 1 地域社会の障がいのある人に対する理解促進
- 2 障がいのある人の自己決定の尊重と意思決定の支援
- 3 施設、病院から地域への移行推進と地域生活を支えるためのサービス提供基盤の一層の充実
- 4 市民、事業者、行政などの連携強化による地域の福祉力の向上
- 5 障がいのある子どもへの支援
- 6 障がいを理由とする差別の解消



## 2 2023年度の成果目標

障がいのある方の自立支援の促進や共生社会の実現に向けて、必要な障がい福祉サービス等の提供体制の確保に係る目標として成果目標を設定します。

なお、国が基本指針で例示する成果目標と札幌市が設定する成果目標との対応関係については、第6章(109～112頁)に掲載しています。

### <新規・強化の表記について>

**新規**：前計画(障がい福祉計画(第5期)・障がい児福祉計画(第1期))には掲載していないが、新たに計画に位置づけて取り組んでいく項目。

**強化**：前計画に掲載しているもので、新たな事業等によって取組が強化される項目。

※いずれも、本計画の計画期間前(2020年度以前)から事業等を開始していたものを含む。

### 障がい福祉サービス等に関する目標

**成果目標①** 入所施設の入所者の地域生活への移行

- 1) 施設入所者の地域生活への移行者数
- 2) 施設入所者数の減少

**成果目標②** 地域生活支援拠点等の整備及び機能の充実(強化)

**成果目標③** 福祉施設から一般就労への移行

- 1) 就労移行支援事業所等を通じた一般就労への移行者数
- 2) 就労移行支援事業等を通じて一般就労に移行する方のうち、就労定着支援事業を利用する割合

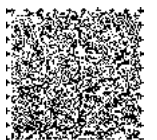
**成果目標④** 医療的ケアを必要とする障がいのある子どもへの支援(強化)

**成果目標⑤** 障がい福祉サービス等の質の向上を図るための取組の推進(新規)

### 障がいのある方に対する理解促進に関する目標(札幌市独自設定)

**成果目標⑥** 障がいのある方に対する理解促進

- ・ 障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がいのある方の割合
- ・ 障がいのある子どもにとって地域で暮らしやすいまちであると思う保護者の割合



せい か もくひょう ① せつにゆうしよしゃ にゆうしよし せつ にゆうしよしゃ ち いきせいかつ いこう  
成果目標① 入所施設の入所者の地域生活への移行

し せつにゆうしよしゃ ち いきせいかつ い こうしやすう  
1) 施設入所者の地域生活への移行者数

だい きけいかく くに きほん ししん  
<第6期計画の国の基本指針>

ねん がつ にち し せつにゆうしよしゃ ねん どまつ ぽんと いじょう  
2020年3月31日の施設入所者のうち、2023年度末において6%以上の  
ひと ち いきせいかつ いこう めざ  
人が地域生活へ移行することをめざす。

さっぽろ し だい きけいかく もくひょう しんちよくじょうきょう  
<札幌市の第5期計画の目標と進捗状況>

ねん がつ にち し せつにゆうしよしゃ にん ねん どまつ  
2017年3月31日の施設入所者2,093人のうち、2020年度末において  
125人 (6%)の方が地域生活に移行することをめざしました。(国の基本  
ししん ぽんと  
指針は9%)

ねん どまつ もくひょう 2020年度末の目標	ねん がつ ねん がつまつ じっせき りんげい しんちよくりつ 2017年4月から2019年3月末までの実績(累計) / 進捗率
にん 125人	にん ぽんと 27人 / 21.6%

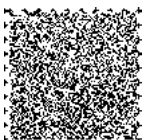
ほっかいどうしら  
※北海道調べ

さっぽろ し だい きけいかく もくひょう  
<札幌市の第6期計画の目標>

ねん がつ にち し せつにゆうしよしゃ にん ねん どまつ (ねん がつまつ)  
2020年3月31日の施設入所者2,009人のうち、2023年度末(2024年3月末)におい  
て60人(3%)以上の方が地域生活に移行することをめざします。

もくひょうせってい かんが かつ  
<目標設定の考え方>

きんねん し せつ にゆうしよ かつ こうれいか しょう ていど じゅうど か すす  
近年は、施設に入所している方の高齢化や障がい程度の重度化が進んで  
いることから、だい きけいかく もくひょうたっせい きび じょうきょう こんご こうれいか  
第5期計画の目標達成は厳しい状況にあり、今後も高齢化に  
ともな ち いき いこう の なや そうてい さっぽろ し かいご みまも  
伴い、地域への移行は伸び悩むことが想定されます。札幌市も介護・見守  
り体制の充実をはじめ、もくひょうたっせい む ほうさく こう くに きほんし  
り体制の充実をはじめ、目標達成に向けた方策を講じることで、国の基本指  
しん どうよう ねん ど ねんへいきんぞう かりつ さっぽろ し ば あい やく ぽんと  
針と同様に、2016～2018年度の年平均増加率(札幌市の場合は約2.1%)  
の達成をめざすこととし、ねん どまつ にん いじょう かつ ち いき いこう  
2023年度末までに60人以上の方が地域へ移行  
もくひょう せってい  
することを目標として設定します。



2) 施設入所者数の減少

＜第6期計画の国の基本指針＞

2023年度末の施設入所者を、2020年3月31日の施設入所者数から1.6%以上減少することを目指す。

＜札幌市の第5期計画の目標と進捗状況＞

2020年度末の施設入所者を、2017年3月31日の施設入所者数2,093人から83人（約4%）減少することを目指しました。（国の基本指針は2%以上）

ねん ど まつ もくひょう 2020年度末の目標	ねん がつ ねん がつ まつ じっせき りんけい しんちよくりつ 2017年4月から2020年3月末までの実績(累計) / 進捗率
にん 83人	にん / ばーせんと 85人 / 102.4%

＜札幌市の第6期計画の目標＞

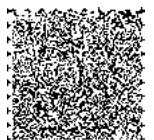
2023年度末の施設入所者を、2020年3月31日時点の施設入所者数2,009人から110人（約5.5%）以上減少することを目指します。

＜目標設定の考え方＞

施設入所支援のサービス利用実績から、2017～2019年度の年平均減少率（1.4%）が今後も続くと見込み、2020～2023年度の累計減少数（推計）を110人（約5.5%）と推計しました。

目標達成に向けた方策について、着実に取り組みを進め、推計を上回る目標を設定します。

地域移行以外の減少要因には、死亡や長期入院等があります。また、障がい重い方を受け入れるグループホームの整備も進んでできていると考えられます。



◆◇ せい か もくひょう たっせい ほうさく ◆◇  
成果目標①を達成するための方策 ◆◇

かいご みまち たいせい じゅうじつ きょうか  
【介護・見守り体制の充実】…強化

ち いきせいかつ おこな ひつよう かいご みまち たいせい こうちく  
地域生活を行うために必要な介護・見守り体制を構築します。

じゅうど しょう かた たいおう ほうちんけい にちちゅうかつどうけい さーびす りよう  
・ 重度の障がいのある方に対応した訪問系・日中活動系サービスの利用、  
ちいきていちやくしえん りよう そくしん  
地域定着支援などの利用を促進します。

じゅうど ほうちんかいご とく ちょうじかん ざいたくかいご ひつよう かた じゅうらい  
・ 重度訪問介護において、特に長時間の在宅介護を必要とする方に、従来の  
きじゆん ていけい べつ ここ じじょう おう ひつよう かいご じかん こ  
基準（「定型」という）とは別に、個々の事情に応じて必要な介護時間を個  
べつ けつてい はんだん きじゆん ひていけい どうじょう  
別に決定する判断基準（いわゆる「非定型」）を導入します。

きんきゅうじ そうだんしえん うけい さき かくほどう きのお そな ちいきせいかつしえんきよ  
・ 緊急時の相談支援や受入れ先の確保等の機能を備える地域生活支援拠  
てんどう かつよう しょう かた せいかつ ちいきぜんたい ささ  
点等も活用し、障がいのある方の生活を地域全体で支えます。

しせつたいしょご せいかつかいご りよう おお みこ せいかつかいご じきょうしよ  
・ 施設退所後、生活介護の利用が多く見込まれることから、生活介護事業所  
じゅうどしょう かた うけいれそくしん はか  
における重度障がいのある方の受入促進を図ります。

す かくほ  
【住まいの確保】

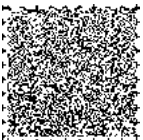
くる ーぶ ほ ーむ せいびすいしん す かくほ はか  
・ グループホームの整備推進などにより、住まいの確保を図ります。

みんかんじゅうたく いこう かのう かた しょう しゃそうだん しえん じきょうしよ おこな じゅうたくじゅう  
・ 民間住宅への移行が可能な方は、障がい者相談支援事業所が行う住宅入  
きょどう しえんぎょうむ みんかんじゅうたくどう にゅうきよ そくしん  
居等支援業務などにより、民間住宅等への入居を促進します。

しえいじゅうたくにゅうきよしゃ ぼしゅう ちゅうせんじ ゆうぐう にゅうきよ たいきよ さぼーと  
・ 市営住宅入居者募集の抽選時の優遇や、入居から退去までをサポートす  
る相談体制の充実等により民間住宅を含む住宅市場全体で住宅セーフ  
てい ねっ と あんぜんもう こうちく こうれい かた しょう かた じゅうたくかくほ  
ティネット（安全網）を構築し、高齢の方、障がいのある方など、住宅確保  
ようはいりよしゃ きょじゅう ば あんていかくほ めぎ  
要配慮者の居住の場の安定確保を目指します。

そうだんしえん じゅうじつ  
【相談支援の充実】

ちいき いこう しえんおよ ちいきていちやくしえん りようそくしん しせつにゅうしよしゃ ちいき  
地域移行支援及び地域定着支援の利用促進により、施設入所者への地域  
いこう うなが  
移行を促します。





せい か もくひょう ③ 成果目標 福祉施設から一般就労への移行

1) 就労移行支援事業所等を通じた一般就労への移行者数

<第6期計画の国の基本指針>

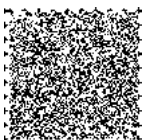
- ・ 2023年度までに、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績の1.27倍以上を基本とする。
- ・ 2023年度までに、就労移行支援の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績の1.30倍以上を基本とする。**(新規)**
- ・ 2023年度までに、就労継続支援A型の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績の概ね1.26倍以上を目指す。**(新規)**
- ・ 2023年度までに、就労継続支援B型の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績の概ね1.23倍以上を目指す。**(新規)**

<札幌市の第5期計画の目標と進捗状況>

2020年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を、2016年度の移行実績444人の1.5倍(666人)とすることを目指しました。(国の基本指針と同じ1.5倍)。

ねんどまつ 2020年度末までの目標	ねん がつ にちじてん 2020年3月31日時点の実績	しんちよくりつ 進捗率
666人	621人	93.2%

※北海道調べ

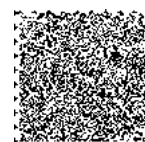


### さっぽろし だい きけいかく もくひょう <札幌市の第6期計画の目標>

- ・ 2023年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績621人の1.11倍(680人)以上とすることを目指します。
- ・ 2023年度において、就労移行支援の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績424人の1.01倍(430人)以上とすることを目指します。**(新規)**
- ・ 2023年度において、就労継続支援A型の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績87人の1.15倍(100人)以上とすることを目指します。**(新規)**
- ・ 2023年度において、就労継続支援B型の利用者のうち一般就労への移行者数を、2019年度の移行実績110人の1.36倍(150人)以上とすることを目指します。**(新規)**

### もくひょうせってい かんが かつ <目標設定の考え方>

福祉施設から一般就労への移行については、2018年4月の法定雇用率の引き上げの要因もあり、2018～2019年度は好調に推移しました。札幌市では、引き続き各種就労支援策を推し進めていくことを通じ、この2年間の各サービスの利用者に占める一般就労移行者数から算出した年平均就労移行率の達成を目指すこととし、2023年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への移行者数を680人以上とすることを目指します。なお、各サービスの目標についても、それぞれこの2年間の各サービスの利用者に占める一般就労移行者数から算出した年平均就労移行率の達成を目指すし、移行者数の目標を設定します。





## 2) 就労定着支援事業の利用者数 (新規)

### <第6期計画の国の基本指針>

2023年度において、就労移行支援事業所等を通じて一般就労に移行する者のうち、7割が就労定着支援事業を利用することを基本とする。

### <札幌市の第6期計画の目標>

2023年度における就労移行支援事業所等を通じて一般就労に移行する方のうち、7割が就労定着支援事業を利用することを目指します。

### <目標設定の考え方>

国の基本指針に即し設定します。

### ◆◆ 成果目標③を達成するための方策 ◆◆

#### 【障がい者就業・生活相談支援事業】

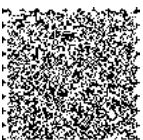
障がいのある方の雇用の促進と就労の安定を図るため、就業や日常生活の支援を行うとともに、ハローワーク等の関係機関と連携して「ジョブサポーター」や支援員による雇用促進・職場定着支援を図ります。

#### 【障がい者元気スキルアップ事業】

履歴書の書き方や社会マナー等、就職のためのスキル習得や福祉サービス事業所の支援能力の向上、民間企業に障がい者の理解を深めるため、セミナー開催や求人紹介等を行います。

#### 【障がい者協働事業】

障がいのある方を5人以上雇用し、他の従業者からサポートを受けながら共に働くことにより、障がいのある方の継続した雇用の場となる「障がい者協働事業」を行う事業所等に対して、その運営経費の補助を行います。



せい か もくひょう  
成果目標④

いりょうてきけ あ ひつよう しょう こ しえん  
医療的ケアを必要とする障がいのある子ども<sup>B</sup>への支援

だい きけいかく くに きほんししん  
＜第6期計画の国の基本指針＞

2023年度末までに、各都道府県、各圏域および各市町村において、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関が連携を図るための協議の場を設けるとともに、医療的ケアを必要とする障がいのある子ども等に関するコーディネーターを配置する。

さっぽろし だい きけいかく もくひょう しんちよくじょうきょう  
＜札幌市の第5期計画の目標と進捗状況＞

医療的ケアを必要とする障がいのある子どもが適切な支援を受けられるよう、2018年度末までに、関係機関等が連携を図るための協議の場の設置を目指しました。

ねん どまつ 2018年度末までの目標	もくひょう 2019年3月31日時点の実績／進捗率
せっち 設置	ねん ど せっち 2018年度に設置 / 100%

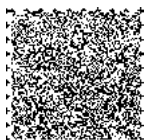
さっぽろし だい きけいかく もくひょう  
＜札幌市の第6期計画の目標＞

2023年度末までに医療的ケアを必要とする障がいのある子ども等に関するコーディネート機能の構築を目指します。

もくひょうせってい かんが かた  
＜目標設定の考え方＞

札幌市における社会資源の状況等をふまえながら、地域におけるコーディネーター機能の構築を目指します。

8：NICU（新生児集中治療室）などに長期入院したあと、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが必要な子どものこと。なお、障がい児施策の対象とならないが医療的ケアを必要とする子どもなどを広く含む。



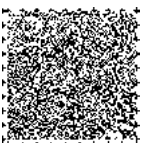
◆◇ せい か もくひょう たっせい ほうさく  
成果目標④を達成するための方策 ◇◆

い りょうてき け あ じ し えんしゃようせいけんしゅう じゅうじつ しん き  
【医療的ケア児支援者養成研修の充実】…新規

い りょうてき け あ じ し えんしゃようせいけんしゅう じゅうじつ つう ちいき こー  
医療的ケア児支援者養成研修の充実などを通じて、地域におけるコー  
でい ねー ときのう こうじょう めざ  
ディネート機能の向上を目指します。

さ ぽーと いし はいち しん き  
【サポート医師の配置】…新規

しょう ふくし さーび す じぎょうしょ がっこう ほいくしょとう しえん さ ぽーと いし  
障がい福祉サービス事業所や学校、保育所等を支援するサポート医師を  
はいち い りょうてき け あ ひつよう しょう こ うけいれそくしん し  
配置し、医療的ケアを必要とする障がいのある子どもの受入促進など、支  
えんたいせい じゅうじつ はか  
援体制の充実を図ります。



せい か もくひょう  
**成果目標⑤** しょう ふくし さーび すとう しつ こうじょう はか とりくみ すいしん しん き  
障がい福祉サービス等の質の向上を図るための取組の推進 (新規)

だい きけいかく くに きほんししん  
**<第6期計画の国の基本指針>**

ねん どまつ とどう ふけん しちようそん さーび す しつ こうじょう  
2023年度末までに、都道府県や市町村において、サービスの質の向上を  
はか とりくみ かか たいせい こうちく  
図るための取組に係る体制を構築する。

さっぽろし だい きけいかく もくひょう  
**<札幌市の第6期計画の目標>**

ねん どまつ ほんし しょう ふくし さーび すとう しつ こうじょう はか とり  
2023年度末までに、本市における障がい福祉サービス等の質の向上を図るための取  
くみ じつしたいせい かくほ じぎょうしよしえん とりくみ すいしん  
組の実施体制を確保していくほか、事業所支援の取組を推進します。

もくひょうせってい かんが かつ  
**<目標設定の考え方>**

しょうらい あんていてき しょう ふくし さーび すとう ていきょう  
将来にわたって安定的に障がい福祉サービス等を提供し、さまざまな障  
がい福祉に関する事業を実施していくためには、提供体制の確保とともに、  
ふくし かん じぎょう じつし ていきょうたいせい かくほ  
それを担う人材が必要となります。引き続き、市職員向けの取組と事業所  
にな じんざい ひつよう ひ つづ ししよくいん む とりくみ じぎょうしよ  
支援の取組を両輪で推進していきながら、サービス等の質の向上を図って  
しえん とりくみ りようりん すいしん さーび すとう しつ こうじょう はか  
いきます。なお、本成果目標の進捗については、「9 障がい福祉サービス  
とう しつ こうじょう べーじ かくこうもく しんちよく ひょう か けんしやう おこな  
等の質の向上 (68～70頁)」の各項目の進捗をもって評価・検証を行います。

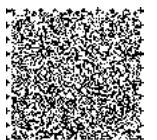
せい か もくひょう たっせい ほうさく  
◆◆ **成果目標⑤を達成するための方策** ◆◆

しょう ふくし さーび すとう かか かくしゅけんしゅう じつし しん き  
**【障がい福祉サービス等に係る各種研修の実施】…新規**

しょう ふくし さーび すとう かか ししよくいん む けんしゅう ひ つづ じつし しょう  
障がい福祉サービス等に係る市職員向け研修を引き続き実施し、障がい  
ふくし さーび すとう りかい いっそうふか  
福祉サービス等についての理解をより一層深めていきます。

し どうかん さけっ か かんけい しちようそん きょうゆう しん き  
**【指導監査結果の関係市町村との共有】…新規**

しょう ふくし さーび すとう じぎょうしよ たい し どうかん さ てきせい じつし  
障がい福祉サービス等事業所に対し指導監査を適正に実施するととも  
し ていとりけしとう ぎょうせいしよぶんとう いた ばあい かん さけっ か かんけい じ ちたい きょう  
に、指定取消等の行政処分等に至った場合は、監査結果を関係自治体と共  
ゆう とりくみ おこな  
有する取組を行っていきます。



**しょう ふくし じんざいかく ぼ ていちやく さ ぼ - と じきょう じっし しんき**  
【障がい福祉人材確保・定着サポート事業の実施】…新規

しょう ふくし さ - び す じきょうしよ じんざいかく ぼ ていちやく さ - び す じつ こう  
障がい福祉サービス事業所における人材確保・定着、サービスの質の向  
じょう はか じきょうしよかんり しゃ む けんしゅう じどう じどういんどう たいしゅう しょにん  
上を図るため、事業所管理者向けの研修や児童指導員等を対象とした初任  
しゃ む じどうはつたつけんしゅう じっし しょう ふくし さ - び す じきょうしよどう  
者向け児童発達研修を実施します。障がい福祉サービス事業所等による  
きゃりあパスせいど どうにゅう しえん きゃりあパスせいど どうにゅうしえん じきょう  
キャリアパス制度<sup>9</sup>の導入を支援する「キャリアパス制度導入支援事業」や、  
せんもんがっこう れんけい しんそつしゃどう たい ちよくせつしゅう ふくし し ごと  
専門学校などとの連携により、新卒者等に対して直接障がい福祉の仕事の  
みりく はつしん しんき しゅうしよくしゃ ぞう か めざ しょう ふくし さ - び す みりくはつしん  
魅力を発信し、新規就職者の増加を目指す「障がい福祉サービス魅力発信  
じきょう あら と く  
事業」に新たに取り組みます。

**しょう ふくし さ - び す どう かか しゅうだん しどうおよ**  
【障がい福祉サービス等に係る集団指導及び

**しょう しゃじりつし えんしん さし す て お しん さ けつ か どう きょうゆう しんき**  
障がい者自立支援審査システムによる審査結果等の共有】…新規

さつぽろ し じっし しょう ふくし さ - び す どう じきょうしよ たい しゅうだん し どう  
札幌市が実施する障がい福祉サービス等事業所に対する集団指導にお  
してき じ こう せいきゅうあやま じ あん せつめい きょうゆう しょう ふくし さ -  
いて、よくある指摘事項、請求誤りの事案を説明・共有し、障がい福祉サー  
び す どう じつ こうじょう はか  
ビス等の質の向上を図ります。

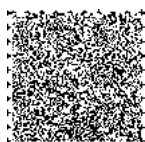
**しょう じちいき しえんまね じ めん と じきょう じっし しんき**  
【障がい児地域支援マネジメント事業の実施】…新規

ちいき はいち しょう じちいき しえんまね - じ ゃ - たんどう ち く ない しょう  
地域に配置された障がい児地域支援マネージャーが、担当地区内の障が  
じつうしよ しえん じきょうしよ ほうもん りょういく じょうほう はあく ていきょう りょういく ぎ じつし  
い児通所支援事業所を訪問して、療育情報の把握と提供、療育への技術支  
えん かんけい き かん しえんちやうせい じっし  
援や関係機関の支援調整を実施します。

**しんがた ころ な う い る す かんせんしやうどう たいさく かか じきょうしよ しえん しんき**  
【新型コロナウイルス感染症等の対策に係る事業所支援】…新規

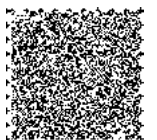
- ・ しんがた ころ な う い る す かんせんしやうどう かんせんしやうりゅうこう じ あんていてき さ - び  
新型コロナウイルス感染症等、感染症流行時にあっても安定的なサービ  
す ていきょう はか ひつよう じょうほうていきょう けんしゅうどう じっし  
ス提供が図られるよう、必要な情報提供や研修等を実施します。
- ・ しんがた ころ な う い る す かんせんしやうどう しょう ふくし さ - び す しよくいんどう り かん  
新型コロナウイルス感染症等に、障がい福祉サービスの職員等が罹患し  
ば あい ほ けんじよ れんけい じんそく じよげん しどう と く  
た場合などには、保健所と連携しながら迅速な助言・指導に取り組みます。
- ・ にゅうしよ し せつどう しゅうだんかんせん そな ほっかいどう れんけい し せつかん きょうりくたい  
入所施設等における集団感染に備え、北海道と連携して、施設間の協力体  
せい うが ひつよう かいご かく ぼ はか  
制を促し、必要な介護の確保を図ります。

9: けいけん しかく おう しょうまじゅう てあてせいど  
経験や資格に応じた昇給・手当制度などのこと。



しょう ふくし さーび すとう しつ ひょうか し く けんどう しんき  
【障がい福祉サービス等の質を評価する仕組みの検討】…新規

しょう ふくし さーび すとう りょうしゃ てきせつ こうかてき さーび す てい  
障がい福祉サービス等の利用者に、より適切かつ効果的なサービスが提  
きょう じぎょうしょ さーび す しつ ひょうか し く けんどう  
供されるよう、事業所のサービスの質を評価する仕組みを検討します。



せい か もくひょう  
成果目標⑥

しょう しょう かつ たい り かいそくしん さっぽろし どくじ せってい  
障がいのある方に対する理解促進（札幌市独自設定）

さっぽろし だい きけいかく もくひょう しんちよくじょうきょう  
＜札幌市の第5期計画の目標と進捗状況＞

	ねん どまつ もくひょう 2020年度末の目標	ねん かつ にちじてん じっせき 2020年3月31日時点の実績
しょう かつ ちいき 障がいのある方にとって地域で 暮らしやすいまちであると思 う障がいのある方の割合	60 % ぼーせんと	48.4 % ぼーせんと
しょう こ ち 障がいのある子どもにとって地 域で暮らしやすいまちである と思ふ保護者の割合	60 % ぼーせんと	35.4 % ぼーせんと

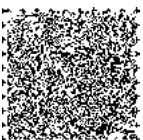
さっぽろし だい きけいかく もくひょう  
＜札幌市の第6期計画の目標＞

	ねん どまつ もくひょう 2023年度末の目標
しょう かつ ちいき く 障がいのある方にとって地域で暮らしやすい まちであると思ふ障がいのある方の割合	60 % ぼーせんと
しょう こ ちいき く 障がいのある子どもにとって地域で暮らし やすいまちであると思ふ保護者の割合	60 % ぼーせんと

もくひょうせってい かんが かつ  
＜目標設定の考え方＞

ぷらん きほんりねん すいしん めざ ねん ど じてん み たっせい  
プランの基本理念の推進を目指し、また、2019年度時点では未達成で  
あることから、次期計画においても引き続き設定します。

もくひょう ち さっぽろし そうごうけいかく さっぽろし せんりやくび じょ  
なお、目標値は、札幌市の総合計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョ  
ン」や「第4次さっぽろ子ども未来プラン」と整合性を図り設定しています。



◆◇ せい か もくひょう たっせい ほうさく  
成果目標⑥を達成するための方策 ◇◆

こころ ばりあふりー ふきゅうけいはつ すいしん きょうか  
【心のバリアフリーの普及啓発の推進】…強化

- ・ 2020 ねん ど から、企業向けと市民向けに、こころ ばりあふりー けんしゅう かいし  
さら ふきゅうけいはつ つと けんしゅうしゅうりょうしゃ こころ ばりあふりー すいしん  
マークのバッジをはいふ  
配布します。
- ・ さまざまなしょう がい 特性等を掲載したガイドブックを再編し、4 コマ漫画  
どうもち ひかくてきへいいい ないよう こころ ばりあふりー がいど  
やすい版]を、市内のしょう 4 年生へはいふ するとともに、でまえこうざ などを通  
じて、こ どもの理解促進を はか していきます。
- ・ しょうがいしゃ さべつかいしょうほう かか とりくみ ひと へるぶまーく へるぶかー  
ど はいふ つう いっそう しゅうち と く  
ドの配布を通じ、一層の周知に取り組んでいきます。

